

「災害時地下水利用ガイドライン」の概要

- 近年、災害が激甚化・頻発化する中で、大規模災害時における水源の確保は全国の地方公共団体に共通する喫緊の課題。
- 令和6年能登半島地震の経験を踏まえ、「災害時地下水利用ガイドライン」を策定し、災害時の代替水源確保のための実効的な取組を推進。

背景・課題

令和6年能登半島地震において、水道施設の甚大な被災、断水の長期化等による、被災直後の生活用水の確保について課題が露呈

⇒災害時における代替水源の確保について検討が急務



水道管 被災状況



浄水場 被災状況



給水車による給水支援

災害時の地下水等の活用を推進するため、「災害時地下水利用ガイドライン」を策定し、地域の防災力向上の一助とする

ガイドラインの概要

- 位置付け：災害用井戸の取組を検討する自治体を対象とした取組方法の手順書
- 対象：民間所有（個人、企業）の既設井戸、湧水
- 使用目的：生活用水（洗濯、風呂、掃除、トイレ等）

ガイドラインの概要

第1章 総説

…背景、位置付け、全体構成、対象とする水源と用途

災害用井戸・湧水の登録制度導入の検討

第2章 地下水利用の現状

…地下水の概念、地下水マネジメントの必要性

第3章 地下水利用に当たっての事前検討

…既設井戸・湧水の把握、新設井戸の検討

取扱要領において定める内容

第4章 災害用井戸・湧水の登録に関する取扱要領の策定

…登録の要件・手続

登録制度導入後の留意事項

第5章 利用に当たっての留意事項

…平常時・災害時の管理方法



井戸利用状況（羽咋市）



井戸利用状況（七尾市）



災害用井戸（仙台市）

＜災害用井戸・湧水の活用に向けた取組の枠組＞

